

第 5 学年 外国語活動学習指導案

1 単元名 「What do you want? ～アルファベットをさがそう～」

(Hi, friends! 1 Lesson6 p.22～25)

2 単元の目標

- 積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。
- アルファベットの文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。

3 児童の実態

普段から曜日のチャンツ、アルファベットのチャンツを歌ったり、簡単な英語表現を使ったりして外国語に慣れ親しんでいる。そのため外国語活動には積極的に参加している。ALT との活動でも意欲的に授業に参加し、分からないことがあれば自分で ALT に質問できる子もいる。英単語を聞き取ることも上手で、様々なゲームにも積極的に参加している。しかし一部の児童には「恥ずかしい。」「外国語って難しい…。」という思いから授業に消極的な子もいる。授業中、席を動いての Activity には積極的に参加するが、みんなの前で発表することには抵抗感をもっている子が多い。そのため、みんなで繰り返し聞いたり、話したりする手立てを必要としている。

4 単元について

『Hi, friends! 1』 Lesson6「アルファベットを探そう」では、アルファベットの大文字が身近にあることに気付き外来語に興味をもてるようにすることをねらっている。

アルファベットは、最近では自分の持ち物にも多く使われているので、児童にとって見つけやすい文字である。身近にあるアルファベットで表記されたものを 1 つ 1 つ挙げていくことで、外国語に対する興味・関心を高めていきたい。

アルファベットについては、大文字と読み方とが一致していないという児童も多い。そこで、音と形に慣れ親しませるため、毎時間『A, B, C, song』をみんなで歌う。

本単元で使われる表現 What do you want? /I want ～ (, please) .を学習し、自分たちで見つけた単語を集めるという活動を通してアルファベットに慣れ親しませ、それにより単語ができていることに気付かせたい。グループごとで欲しいカードをお店屋さん形式で聞いたり答えたりする活動で、意欲的に What do you want? /I want ～ (, please) .の表現を使わせたい。1 人での活動では恥ずかしがったり止まってしまったりする子がいると考えられる。そこで、初めはグループで行い、慣れてきたら個人で尋ねたり答えたりできるように段階を踏んで活動していきたい。

また、個々で行うインシヤル集めでは、誰が何のアルファベットを持っているか分からないため、自分が欲しいカードに当たるまで何人もの人に尋ねなくてはならない。こうすることにより目的意識をもって繰り返し What do you want? /I want ～ (, please) .の表現を聞いたり話したりできると考える。

5 単元の評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・自ら欲しいものを尋ねたり、答えたりしている。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。
- ・What do you want? /I want ~ (, please) .の表現を使って尋ねたり答えたりしている。

【言語や文化に関する気付き】

- ・身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付いている。

6 指導と評価の計画（時間配分 5 時間）

| 時 | 目標・活動 | 評価 | | | | |
|-------------|---|----|---|---|---|--------------------------------------|
| | | コ | 慣 | 気 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | 身の回りにあるアルファベットで表現されているものを見つけようとする。 ○アルファベットソングを歌う。 ○キーワードゲーム ○身の回りにあるアルファベットを探す。 ○テキスト p.22～23 の絵を使い、ポイントニングゲームをする。 ○アルファベット当てゲームを楽しむ。 | | | ○ | ・身の回りにはアルファベットで表現されているものがあることに気付く。 ・アルファベットの大文字とその読み方とが一致している。 | 行動観察・振り返りカード分析 行動観察・振り返りカード点検 |
| 2 | アルファベットの音と形とが一致するようになる。 ○アルファベットソング ○人文字アルファベットゲーム ○イニシャルカードの台紙を作る。 ○アルファベットかるたをしよう。 アルファベットのカードを見たら、そのカードを取る。慣れてきたら発音をきいただけで取る。 | | | ○ | ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。 | 行動観察・振り返りカード点検 |
| 3 | 欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○アルファベットソング ○キーワードゲーム ○続き 3 文字のアルファベットを集める。 集めたアルファベットをカードに貼り付けていく。 | | | ○ | ・What do you want? /I want ~ (, please) .の表現を使って尋ねたり答えたりしている。 | 行動観察・振り返りカード点検 |
| 4 本 時 | 進んで欲しいものを尋ねたり、答えたりする。 ○アルファベットソング ○人文字アルファベットゲーム ○カード集めゲームをしよう。 What do you want? /I want ~ (, | ○ | | | ・自ら欲しいものを尋ねたり、答えたりしている。 | 行動観察・振り返りカード点検 |

| | | | | | | |
|---|--|---|--|--|--------------------------------|----------------|
| | please) .の表現を使って身の回りにある単語を作る。 ○イニシャルシール集めをしよう。 | ○ | | | ・自分の欲しいアルファベットを相手が持っているか尋ねている。 | 行動観察・振り返りカード点検 |
| 5 | 進んで欲しいものを尋ねたり、答えたりする。 ○アルファベットソング ○キーワードゲーム ○みんなでアルファベット辞典を作ろう。 | ○ | | | ・自ら欲しいものを尋ねたり、答えたりしている。 | 行動観察・振り返りカード点検 |

7. 本時の指導（4／5時間）

(1) 本時の目標 自ら欲しいものを尋ねたり答えたりする。

(2) 本時の展開

| 過程（分） | 児童の活動 | 学級担任の活動 | 指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉 |
|----------------------|---|--|--|
| あいさつ・導入（10分） | <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・アルファベットソング ・人文字アルファベット作り。ペアでアルファベットを作り形と音を一致させる。 ・What do you want?と全員で聞く。 ・めあてをたてる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体であいさつをした後、数人の児童とあいさつをする。 ・今日は○○○を作りましょう。 ・教師が I want ～と答える。これを数回繰り返す。 | |
| 欲しいものを 尋ねたり、答えたりしよう。 | | | |
| 展開①（20分） | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの単語のアルファベットを集める（グループ）。何の単語を作るかグループごとで考える。 ・お店屋さん形式で行い、前半後半に分かれ What do you want? と尋ねる側と I want ～と答える側に分かれて行う。 ・テーブルを4つ並べて聞く側は椅子に座って待っている。 ・手に入れたアルファベットは単語カードにのりで貼り付ける。 ・単語カードが完成したら次の | <ul style="list-style-type: none"> ・決められないグループは掲示されているもの、もしくは教師の用意したものを集める。 ・グループみんなで聞くこと、ジェスチャーを付けてやることを話す。 ・アルファベットカードは8山ずつ用意する。1人に2山、1グループに必ず母音を1種類入れる。 ・完成した単語カードはホワイトボードに掲示する。 ・10分で聞く側、答える側を交代する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに出てきた単語を掲示しておく。 <p>◎どのアルファベットが欲しいのか進んで尋ねている。</p> <p style="text-align: right;">(コ) 〈行動観察〉</p> |

| | | | |
|--------------|---|--|---|
| | 単語を決め、集める。 | | 〈振り返りカード点検〉 |
| 展開② (10分) | <ul style="list-style-type: none"> 自分の名前のイニシャルを集める。(個人) 誰がどのアルファベットを持っているのか分からないので、自分の欲しいアルファベットを見つけるまで聞いて回る。 | <ul style="list-style-type: none"> 1人に5枚ほどアルファベットシールを配る。 ルールを説明する。じゃんけんをし、負けたら What do you want? と尋ねる。 | <ul style="list-style-type: none"> 5人の先生に母音のカードをお願いする。 事前にパスポート(自分のイニシャルカード)を作っておく。 <p>◎What do you want? 等の表現を使い、尋ねたり答えたりしている。</p> <p>(コ・慣)</p> <p>〈行動観察〉</p> <p>〈振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 持っている場合 →Here you are. 持っていない場合 →Sorry, I don't. <p>以上の表現をすぐに使えるように普段から慣れ親しんでおく。</p> |
| あいさつ (5分) | <ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 あいさつをする。 Good bye. / See you. | <ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードの確認をする。 あいさつをする。 Good bye. / See you. | <ul style="list-style-type: none"> 児童の様子についてよかったところを具体的にあげて確認をする。 |